代表取締役社長　牧　誠

激変する環境変化を乗り越え インターネット・ソリューション・プロバイダーへ

インターネットはいよいよ社会基盤のひとつとなる

近年、インターネットはますます一般的で身近なものになってきました。オフィスはもちろん、一般の家庭でも普及し、電子メールは電話やFAXに次ぐコミュニケーション方法の一つとして広く利用されるようになっています。また、通信回線の高速化や利用料金の低下は、動画配信などの新しい利用方法や利用者の裾野をさらに押し広げようとしています。

家庭やオフィスだけでなく、教育現場や官公庁などの公共施設でもインターネットの利用が進み始めました。さらに鉄道やレストランなどの公衆の場では、無線LANを使った新しいインターネットサービスの提供も始まりました。

こうしたことを背景に、企業活動はますますインターネットの有効な活用を必要とされるようになり、個人の生活様式も、コミュニケーションの手段や情報の利用という点で大きく変わろうとしています。

場所と時間の制約が少なくなり、社会はますますスピードを増し、必要な情報を必要な時にどこでも使える社会が到来しようとしています。

経営環境の急変に機敏に対応

インターネット関連の市場では、ブロードバンド（広帯域：高速インターネット回線）の普及が急速に進み、活力ある新たな市場として注目を集めています。当社はこの分野にかねてより注目し、メモリやストレー

ジなどの既存事業からインターネット関連事業に経営資源を重点的に再配分する事業の転換を進めてきました。

しかし、日本の経済は大変厳しい状況が続き、当社の関連するIT業界では、世界的なパソコン需要の減退により、製品の過剰在庫や競争激化による製品の価格低下が起こりました。そのため既存事業の主力製品であるメモリとストレージの売上高が減少し、中間決算時には当社上場以来初めての赤字計上を余儀なくされました。

当社はこの厳しい経営環境に対応するため、業界での勝ち残りをかけ、全社をあげて収益構造改革を実行しました。 そして現在、組織の簡素化やグループ全体の業務効率化、営業活動の強化、原価低減、経費節減などの相乗効果による競争力と収益力の強化を図り、デフレ経済下でも収益を上げられる企業体質を作り上げつつあります。

これによりメモリ・ストレージなど既存事業の安定した収益性とインターネット関連事業での成長性という2つの側面を併せ持った事業構造の基礎を作り上げることができました。

この収益構造改革を通じて、今後も起こりうる厳しい景気や市場の変化にも、若さと熱意をもって的確に、しかも機敏に対応すれば、いかなる難局にも打ち勝つことができるという大きな教訓を得ることができました。

ネットワーク社会の発展に貢献

急速な成長を続けているインターネット関連分野では、ブロードバンドの普及にともない無線LAN製品が注目を集めています。当社はかねてよりその便利さを単なる無線のネットワーク装置としてではなく、インターネットの新しい使い方として提案をし続けてきました。日本の無線LAN普及率が世界の中でも高い水準にあるのは当社のこうした提案が一助になっているものと自負しております。今後さらにインターネットは社会基盤としての性格を増してくるものと思われます。ビジネスマンはノートパソコンを持ち歩き、いつでもどこでもオフィスにある情報を利用することができるようになります。そうした社会が実現するためには、情報伝達時の安全性やプライバシーの確保、オフィスや家庭以外にも利用可能な場所の拡大などが必要になってきます。

当社は、お客様のニーズを具体的な製品に作り上げていくことを信条として、どこでも情報を使えるようにするために必要な技術や機能を新しい製品やサービスの形にして今後も提案し続けてまいります。

インターネット・ソリューション・プロバイダー（提案の提供者）としてネットワーク社会の形成に貢献することを通じ、メルコグループ全体の企業価値を高めるようなお一層の努力をしてまいります。